

浦幌町立博物館だより

2025(令和7)年11月号

編集・発行:浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



西里静彦博士が来館されました



中央が西里博士。左から同級生の田子利隆氏と飯山祐敏氏



井上町長へ贈られた自伝『日本で生まれた証もなくなった!「昭和の道産子」』(北海道出版企画センター)への献辞



上田教育長、井上町長と懇談される西里博士

2025年10月13日(月・祝)、カナダのトロント大学名誉教授で、計量心理学の世界的権威である西里静彦さんが浦幌町立博物館を訪れ、井上亨町長、上田真弓教育長と懇談されました。

西里さんは札幌市のお生まれですが、戦前に浦幌へ移住され、浦幌小学校、中学校を卒業しました。1952(昭和27)年の十勝沖地震罹災後に浦幌を離れ、大学卒業後はカナダのトロント大学へ着任

されて、国際的に著名な研究者として活躍されています。

井上町長に贈られた自伝は、図書館で読むことができますのでご覧下さい。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!



「麦踏」の瓶

今年発売となったRIKKA合同会社製造の発泡酒「麦踏」の瓶。浦幌に新しい産業が始まったことを示す資料です。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

Pick up BOOK (注目の本)

図書館から

へそまがり日本美術

府中市美術館・編著
2019年 講談社発行



【配架場所】
720.8/7
(一般書・芸術コーナー)

昨年の秋に初めて伊藤若冲の絵を見たとき、真っ先に思ったのは「かわいい!」でした。美しい、力強い、精巧である、いろんな言葉が頭に浮かびましたが、やっぱり感じる愛くるしさ。どうやらわたしも、へそまがり好きの一人のようです。

「へそまがり日本美術」では、中世から現代まで、収録されている作品たちのふしぎな魅力に浸ることができます。昨今のkawaiiブームやアニメ文化の浸透から、今ではこの感性を世界中の人と共有できるようになった気がして嬉しいです。

(浦幌町立図書館 司書 三橋 なつみ)



11月の博物館お知らせ

企画展

聞き取り調査報告展

福沢バット工場の記憶

11月 8日 (土)

2026年

1月12日 (月・祝)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

主催:浦幌町立博物館

かつて浦幌町寿町で創業していた「福沢バット工場」について、博物館でおこなった聞き取りの結果を、関係資料とともにご紹介します。

なお、福沢バット工場に関する資料をお持ちの方は、展示期間中博物館へお貸し下さいませんか？ご連絡お待ちしております。！



移動博物館

まちづくり政策課 × 博物館

冬の渡り鳥観察会

11月3日 (月・祝) 9:00~12:00

集合:9:00 博物館

講師:トリおばさん

定員:8名 (要申し込み)



北へ帰る渡り鳥、マガンやヒシクイ、シジュウカラガンやハクガンを探しながら観察します。

夜学講座

なぜ、いま「大切な場所」なのか？

ソーラーパネル問題とゾーニング

11月12日 (水) 19:00~20:00

場所:博物館ロビー

講師:持田 誠 (当館学芸員)

申込不要・無料



ソーラーパネルと自然環境や景観など「大切な場所」の両立をどうはかるのか？現在の取り組みから学びます。

おしえてください！

あなたにとって大切な場所

たとえば、こんな場所ありませんか？

- 子どものころ遊んだ思い出の場所
- 家族で通ったお気に入りの風景
- まちのシンボルと思える場所

下記URLまたはQRコードから登録をお待ちしております！

※入力方法は裏面に記載

<https://urahoro-mapping.netlify.app>



この調査は、今年度、浦幌町が環境省に採択された「再生可能エネルギーゾーニング事業」の一環として、住民参加型の調査として実施しています。

再生可能エネルギーの促進や規制にあたっては、住民の参加のもと、さまざまな情報を可視化し、立地を避けるべきエリアや積極的に導入を進めるエリアなどを整理することで、問題の発生を未然に防ぐことができます。

入館料:無料

開館時間:10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員:1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

11月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

休館日:月曜日・月末資料整理日

11月28日(金)は、月末資料整理日のために休館します。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車…約1時間
池田駅より普通列車…約30分
釧路駅より普通列車…約2時間
鉄道のご利用が便利です！

【運賃】

帯広～浦幌間 1380円(片道)

釧路～浦幌間 1800円(片道)

4月1日から運賃が改定されました



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間

釧路市より国道38号線約1時間半

道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館

The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ:電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)

E-mail: info@museum-urahoro.jp / <https://museum-urahoro.jp>